

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 411

事務事業名	観光交流拠点振興事業	
-------	------------	--

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	田中 勝美	内線	242

基本目標	040401	活力に満ちた産業のまち
政策		歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光交流のまちづくり
関連施策		

会計	一般会計		
款	7	商工費	
項	1	商工費	
目	3	観光費	
事業コード	050201	観光交流拠点振興事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	道路利用者及び国内外からの観光客、市民		
意図	「活力を呼び込み、産業を育てる地産外商の拠点」として整備を進め、「道路休憩機能の拡充」「住民協働・交流拠点の創出」「情報発信機能の強化」の拠点として、道路利用者への良好な休憩場の提供、地域活性化及び観光振興による交流人口の拡大に資するよう運用を行う。		
事業概要	[平成27年度～] (1) 鈴田峠に観光案内の拠点となる施設(情報発信スペース・飲食スペース)を整備 (2) 施設の管理運営(平成28年度～委託)		
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	大村市道の駅条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 地元高校等との協働イベント開催	計画値			1	2	
		実績値			1		
		達成度	%			100.0%	
活動指標	② マルシェ開催	計画値			1	12	
		実績値			1		
		達成度	%			100.0%	
成果指標	① 道の駅利用者数	計画値			2,903	180,000	H27の計画値は、3/26日~6日間分
		実績値			8,655		
		達成度	%			298.1%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	19,495	23,451	17,122	17,122	17,122	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他				1,283	607	607	607	
一般財源			19,495	22,168	16,515	16,515	16,515	
② 人件費(千円)	0	0	2,721	4,425	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)			0.35	0.35	情報発信及び地元の旬な特産物販売等	情報発信及び地元の旬な特産物販売等	情報発信及び地元の旬な特産物販売等	
時間外勤務(時間)			126	15				
嘱託等人数(人)				1.00				
フルコスト(①+②千円)	0	0	22,216	27,876				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度、施設整備を行い、平成28年3月26日に供用開始した。管理運営は平成28年5月から直営委託であるが、情報発信スペースと飲食スペースの機能強化及び魅力アップに努めた。定例イベントとして、毎月1回程度マルシェを開催し、年に2回地元高校と連携による協働事業を実施する。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	施設規模が小さいため、交流拡大等の取組を行う内容に限界がある。駐車場から国道へ出にくいため、車両誘導が必要であり、業務委託を行っている。今後、経費節減を図る工夫、検討が必要である。

妥当性	<b>【必要性】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	「道の駅」建設に当たり、道路休憩機能や情報発信機能、外国人観光客受入態勢の整備を行い、併せて、地域間交流を創出する拠点づくりが必要である。						
有効性	<b>【市の関与】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	道の駅の設置者は、地方公共団体又はそれに代わり得る公的な団体に限られており、市の関与が不可欠である。						
効率性	<b>【事業成果】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本市の観光のゲートウェイとして、観光情報発信機能・外国人観光客対応機能・道路休憩機能の強化を行うことで、観光客を呼び込み、周遊を促すことで観光消費額の増加を図ることが出来る。						
効果性	<b>【施策貢献度】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地域交流、地域産業と観光の振興を図る拠点として、その施策貢献度は高い						
効果性	<b>【コスト】</b>	削減の余地なし	削減の余地あり	削減の余地あり	削減の余地あり	該当なし	
	指定管理者制度の導入等、経費削減へ向けて取り組む余地がある。						
効果性	<b>【負担割合】</b>	見直しの余地なし	見直しの余地あり	見直しの余地あり	見直しの余地あり	該当なし	
	指定管理者制度を導入する際には、本市の費用負担を見直す余地がある。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成31年度以降からの指定管理に向けて、道の駅の運営・管理の実績を把握するとともに、今後の運営方針等の協議を進めていく。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。